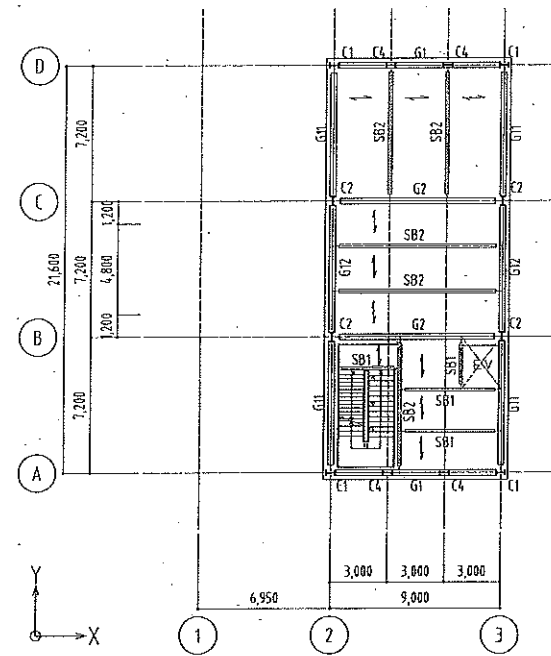


2階伏図 S=1/200

共通事項 特記の他は下記による。

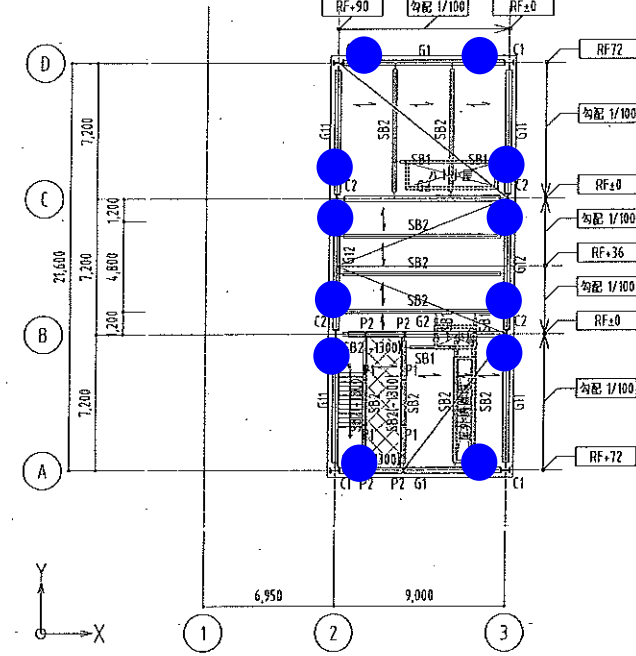
- ・2FL=RF+4200とする。
- ・スラブは、DSとする。
- ・水平ブレースは、HVとする。
- ・---印はデッキ(新設)方向を示す。
- ・スラブ天端レベル
- ・2FL-30 2FL-550 2FL-550
- ・梁天端レベルは2FL-185とする。
- ・( ) 内数値は2FLからの梁天端レベルを示す。
- ・---印は剛接合を示す。



3階伏図 S=1/200

共通事項 特記の他は下記による。

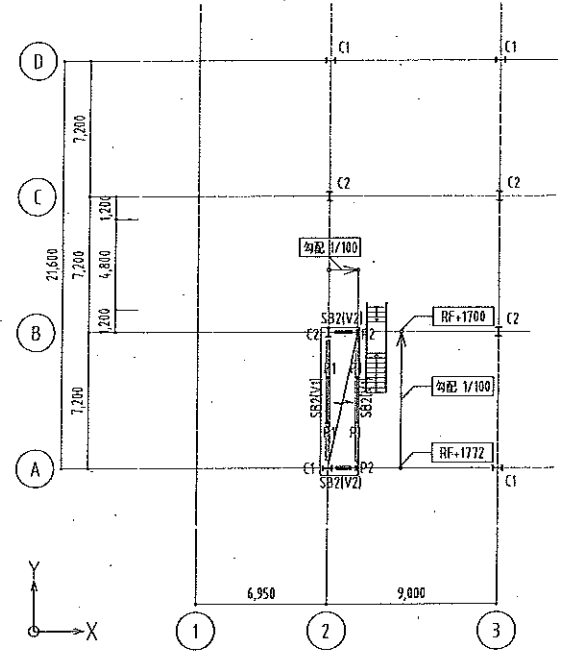
- ・3FL=RF+4400とする。
- ・スラブは、DSとする。
- ・---印はデッキ(主筋)方向を示す。
- ・スラブ天端レベル
- ・3FL-30 3FL-185 3FL-185
- ・梁天端レベルは3FL-185とする。
- ・( ) 内数値は3FLからの梁天端レベルを示す。



R階伏図 S=1/200

共通事項 特記の他は下記による。

- ・RF=RF+4200とする。
- ・スラブは、Sとする。
- ・---印はデッキ(主筋)方向を示す。
- ・スラブ天端レベル
- ・RF-000 RF-1550 RF-1550
- ・梁天端レベルはRF-1550とする。
- ・( ) 内数値はRFからの梁天端レベルを示す。
- ・ハト小屋、屋外設備等は特記を参照する。
- ・---印は増し打ちスラブ勾配、増し打ちスラブレベルを示す。

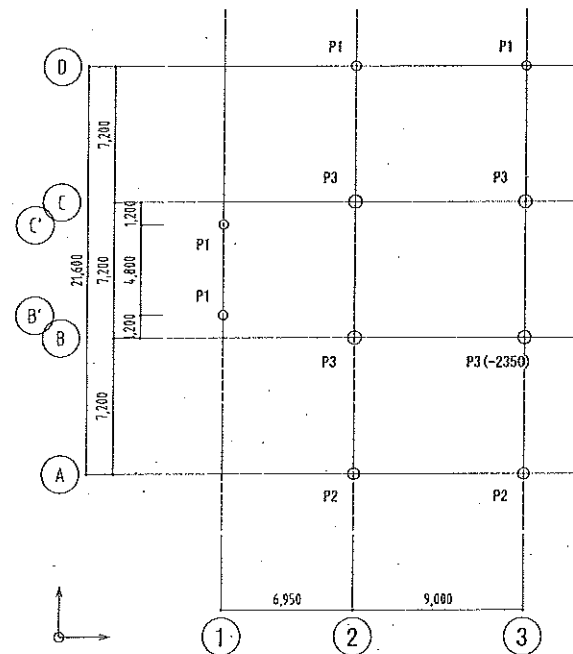


R階+1700伏図 S=1/200

共通事項 特記の他は下記による。

- ・スラブは、Sとする。
- ・スラブ天端レベルRF+1700とする。
- ・---印はデッキ(主筋)方向を示す。
- ・梁天端レベルはRF+1550とする。
- ・( ) 内数値はRFからの梁天端レベルを示す。

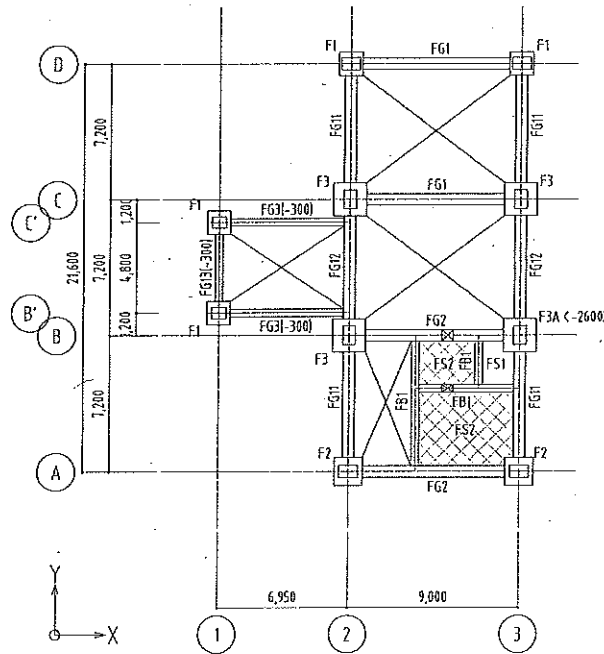
杭一覧表						
杭番号	杭間 接合部	杭全長 (m)	基礎名称	杭径 (mm)	杭型名称	杭長 (m)
P1	剛接合タイプ	22	上杭	500	SC(490)-16	8
			中杭	500	PHC85-A	7
			下杭	500	PHC85-A	7
P2	剛接合タイプ	22	上杭	600	SC(490)-16	8
			中杭	600	PHC85-A	7
			下杭	600	PHC85-A	7
P3	剛接合タイプ	22	上杭	700	SC(490)-16	8
			中杭	700	PHC85-A	7
			下杭	700	PHC85-A	7



杭伏図 S=1/200

共通事項 特記の他は下記による。

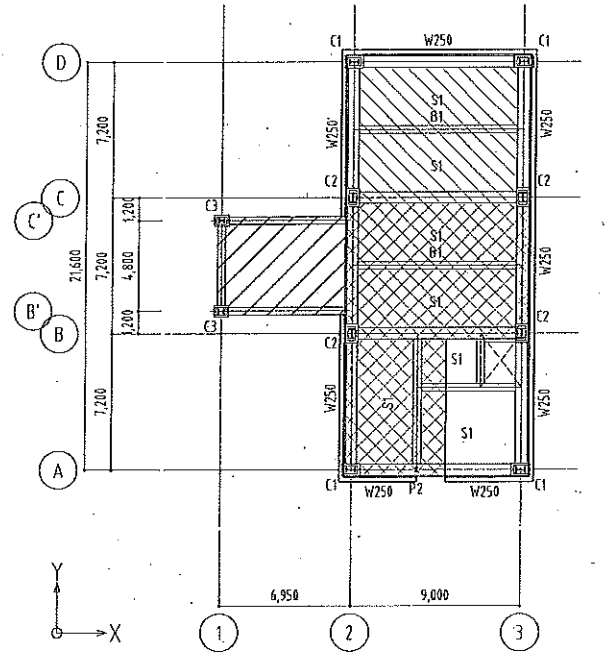
- ・杭天端レベルはGL-2000とする。
- ・( ) 内数値はGLからの杭天端レベルを示す。



基礎伏図 S=1/200

共通事項 特記の他は下記による。

- ・RF=GL+2000とする。
- ・ は埋め戻しを示す。
- ・ピットスラブは短辺方向を主筋方向とする。
- ・ピットスラブ天端レベルは下記とする。
- ・RF-1050 RF-1670 RF-1670
- ・基礎梁、基礎小梁天端レベルはRF-50とする。
- ・( ) 内数値はRFからの基礎梁天端レベルを示す。
- ・基礎下地レベルはGL-7250とする。
- ・< > 内数値はGLからの基礎下地レベルを示す。
- ・ は人差し(600φ)を示す。



1階伏図 S=1/200

共通事項 特記の他は下記による。

- ・RF=GL+2000とする。
- ・ は土留コンを示す。
- ・スラブは、S1とする。短辺方向を主筋方向とする。
- ・スラブ天端レベル
- ・RF-30 RF-50 RF-100
- ・基礎梁、基礎小梁天端レベルはRF-250とする。
- ・( ) 内数値はRFからの基礎梁天端レベルを示す。
- ・RC小梁天端レベルは、寄り付くスラブのうち最も低いスラブに合わせる。

revisions			

MHS  
New Architects & Engineers

松田平田設計

project no.  
A4521 - (株)アイ・テック相馬工場新築工事

日付  
16.11.14

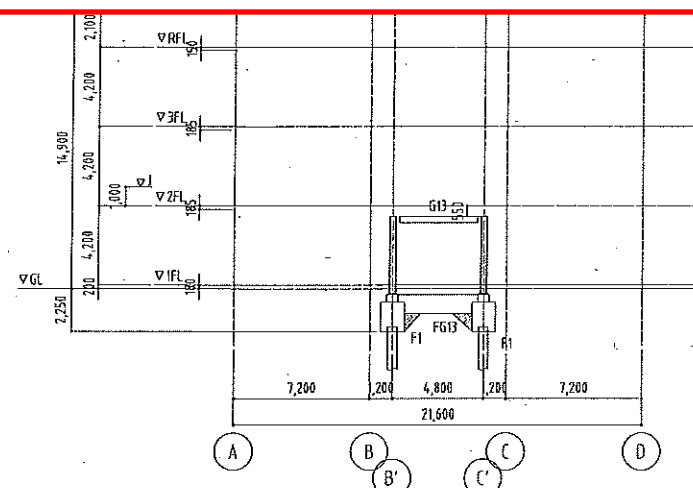
その他の設計者  
設計者  
設計者  
設計者

checked by

事務所棟 伏図

scale  
A1/1:200, A3/1:400

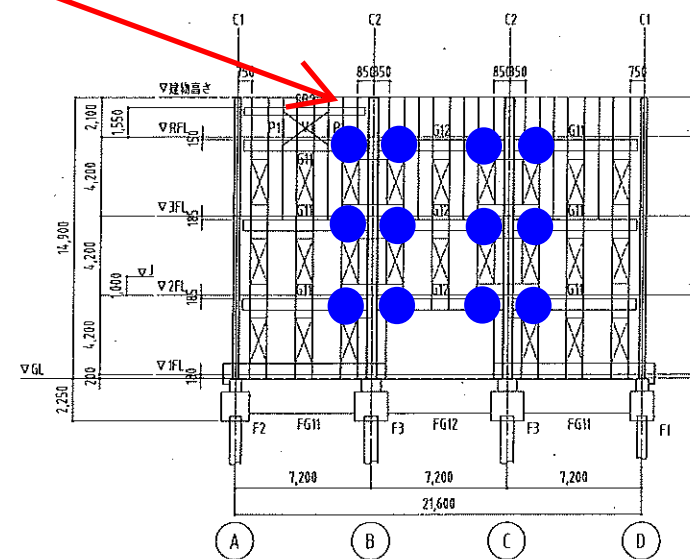
構造  
401



轴图 S=1/200

共通事項 特記の傍に下記による。

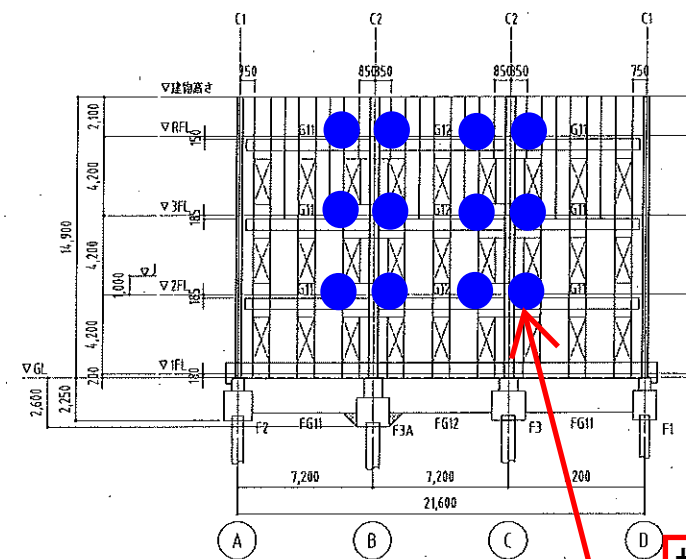
- ・WJ印はブラケット現場継手位置を示す。
- ・BPL下端レベルは梁天端、50とする。
- ・固柱はP3とする。
- ・バフベツト天端、耐風梁は10とする。
- ・開口の寸法・位置は意匠図による。
- ・3層バツトレスを示す。



2轴图 S=1/200


北原幸直 傳記の他は下記による。

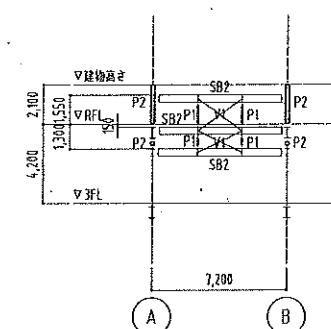
- ・マ) 印はブケット現場起手位置を示す。
- ・B、P1下端レベルは架天端+50とする。
- ・照柱はP3とする。
- ・バウベット天端、耐風梁はHB1とする。
- ・開口の寸法・位置は要図説による。



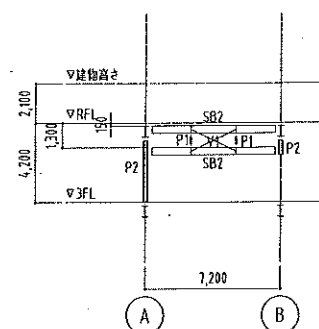
3轴图 S=1/200

共通事項 特記の他は下記による。

- ・ワJ印はブACKET現場継手位置を示す。
- ・B.P.L下拵レベルは梁天端、50とする。
- ・貫柱はP3とする。
- ・バフベツ天端、耐風梁はH8とする。
- ・開口の寸法、位置は意匠図による。
- ・バツトレスを示す。

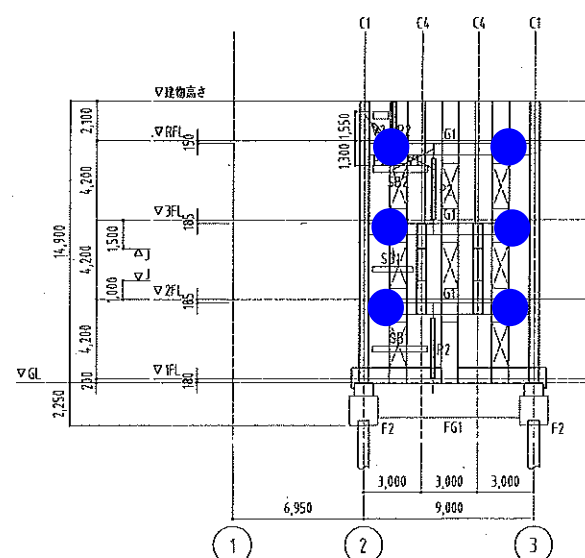


① 部矢视图  $S=1/200$



⑥ 部矢视图 S=1/200

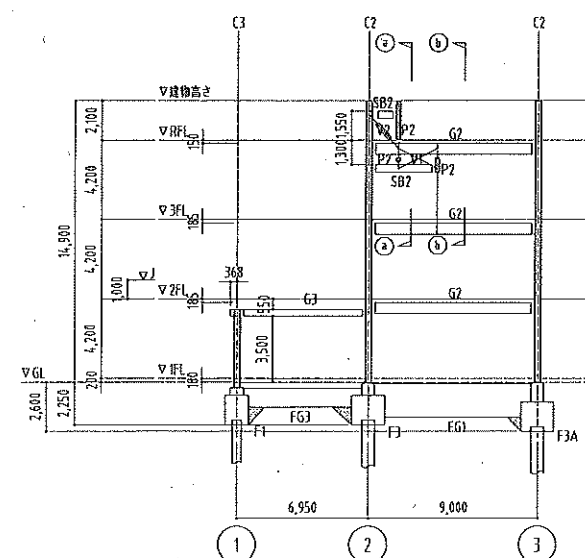
検討したスプリットティ接合部は二種類あります。  
一つは梁の降伏耐力まで初期剛性をとれる剛強なスプリットティ接合部 (EuroCodeで計算し  $K_j = 1.3 \times 10^5$ )、  
もう一つは梁の降伏耐力の2/3まで初期剛性がとれるスプリットティ接合部です ( $K_j = 0.99 \times 10^5$ )



A軸圖 S=1/200


共通事項 特記の他は下記による。

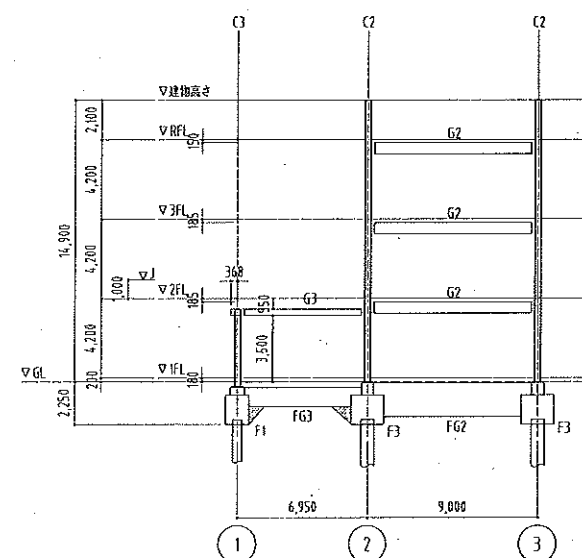
- ・マ) 印はブケット現場廻手位置を示す。
- ・B.P.L下鋪レベルは架天造・S0とする。
- ・固柱はP3とする。
- ・バラベツト天造、刷飯染はHB1とする。
- ・開口の寸法・位置は要経図による。



B-B'轴图 S=1/200

共通事項 特記の他は下記による。

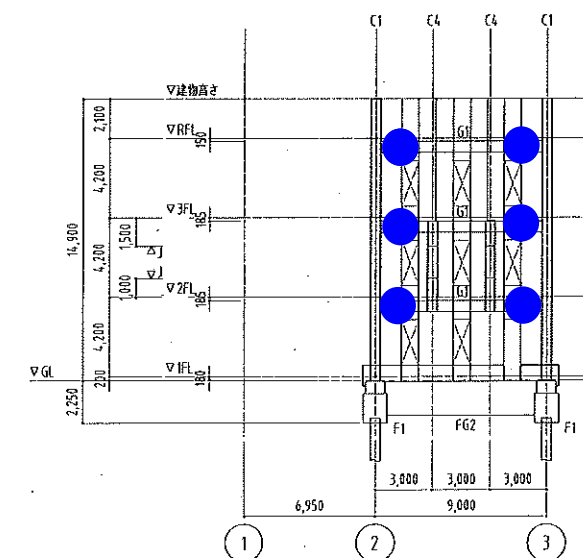
- ・ワJ印はプケット現場起手位置を示す。
- ・8PL下流レベルは架天端、50とする。
- ・鮎はP3とする。
- ・肝臓梁はH3とする。
- ・開口の寸法・位置は要肝図による。
- ・ バットレスを示す。



C-C'軸図 S=1/200

兵通事項 特記の他は下記による。

- ・ WJ印はブケット現場懸手位置を示す。
- ・ BPL下桁レベルは梁天吊、50とする。
- ・ 鋼柱はP3とする。
- ・ 鋼梁はHBとする。
- ・ 樹口の寸法、位置は夏見図による。
- ・ 鋼バットレスを示す。



D軸図 S=1/200

共通事項 借記の他は下記による。

- ・WJ印はブACKET現場継手位置を示す。
- ・8P以下端レベルは梁天端、50とする。
- ・間柱はPJとする。
- ・バラベツト天板、耐風梁はHDとする。
- ・開口の寸法、位置は専任図による。